

おきなわ移住の輪



おきなわ
移住の輪
OKINAWA ijyu

事務局 沖縄県企画部 地域・離島課 地域振興班 TEL (098) 866-2370

平成 28 年 11 月号 (第 4 号)

ハイライト

- 10月22日に、東京国際フォーラムにおいて、第12回ふるさと回帰フェアが開催され、沖縄県から、石垣市、国頭村、東村、久米島町、竹富町の6ブースが出展しました。
- 第2回地域の世話役養成塾を開催しました。
- 国頭村の移住・定住促進へ向けた取組みについて紹介します。
- 国頭村へ移住された方の声を紹介します。

10.22 第12回ふるさと回帰フェアへ出展



第12回ふるさと回帰フェア (10月22日開催) 東京国際フォーラム ホールE

目次

10.22 第12回ふるさと回帰フェアへ出展	1
地域の世話役養成塾(第2回)開催しました!	2
移住・定住促進へ向け奮闘中@国頭村	2
移住者の声	2
ひと紹介コーナー	2



10月22日(土)に「第12回ふるさと回帰フェア」が東京で開催され、全国47都道府県から約350自治体が出展し、18,176名の方が来場しました。

沖縄県からは、石垣市、国頭村、東村、久米島町、竹富町、沖縄県の6ブースが出展し、延べ76組126名の方が移住相談に訪れました。

沖縄のブースは会場の奥にあり、これまでの移住相談会ほどの来場者はありませんでしたが、小さなお子様連れの家族や日本に住んでいる外国人の方、当日関西からかけつけてきた方など、沖縄への移住を真剣に考えている方の相談が多く、各自治体の対応者は熱心に地域の状況や魅力をアピールしていました。

○今後の予定○

【世話役養成塾】

- 第3回
12月6日(火) 南部
12月7日(水) 北部
- 第4回
H29年1月(市町村職員、世話役合同研修会)

【移住フェア(東京)】

- 11月13日(日)
九州・山口合同移住フェア
- 11月25日(金)
沖縄移住相談会
- H29年1月14日(土)
沖縄移住相談会
- H29年1月15日(日)
JOIN移住・交流フェア

【おきなわ移住相談会】

- H29年2月
ふるさと回帰支援センター
(東京交通会館)
- 【移住体験ツアー】
 - 11月10日~12日 久米島町
 - H29年1月~2月
石垣市、宮古島市
- 【移住シンポジウム】
 - 12月6日(火)
県立博物館・美術館講堂

地域の世話役養成塾(第2回)開催しました！

10月31日(北部地区)、11月1日(南部地区)において、地域の世話役養成塾(第2回)を開催しました。

前回台風の影響で開催できなかった北部では、午前の第1回に引き続き、午後第2回の養成塾を開催しました。長時間のセミナーとなりましたが、5名の世話役を含め、8名が受講しました。

講師には、熊本大学名誉教授の徳野貞夫氏をお迎えし、世帯とは？家族とは？世帯と家族の違いを考えるとところから、人口問題を考えていきました。

また、T型集落点検の手法を通して、集落の現状、将来集落がどのように変化していくのか、既存の見方にとらわれない集落の将来について、考える機会となったのではないのでしょうか。今回学んだことを自地域で実践してみましよう！

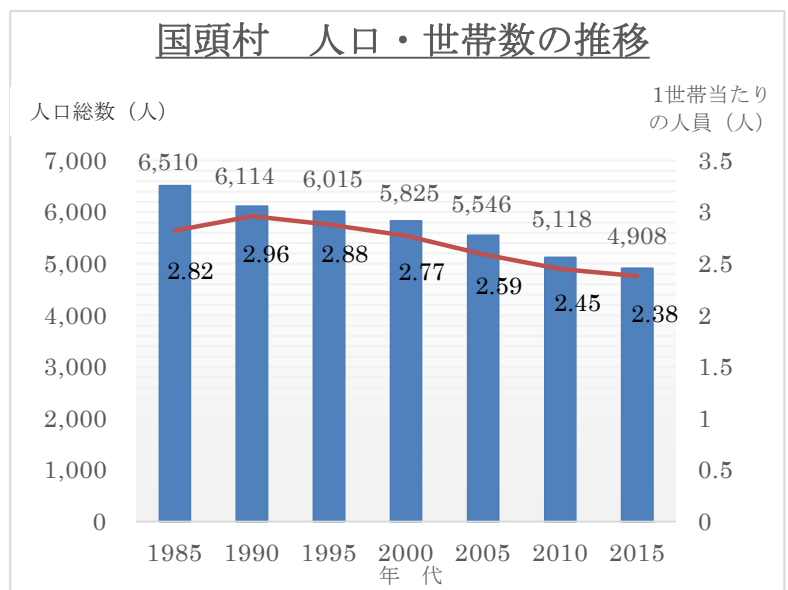


移住・定住促進へ向け奮闘中@国頭村

国頭村の人口は減少を続けています。2005年の国勢調査による人口は5,546人、2015年には4,908人と10年間で638人も減少しています。人口減少の背景としては、進学や就職のタイミングである10代後半から30代にかけての若い世代の転出が多く、その世代の転出を補うことが出来ていません。

そこで国頭村は、人口5,500人で安定する地域社会を目指し、「くにがみ美らコン」(婚活イベント)の開催、「国頭村山村留学」(小学生の児童がいる家族を対象に教職員住宅の空き部屋を無料で提供)の実施、「国頭村移住体験住宅」の整備など、移住・定住促進のための取組を行っています。

しかし、「国頭村山村留学」や「国頭村移住体験住宅」は短期間しか体験できない取組のため、今後は、定住に繋げていけるよう、住宅不足を補う空き家を利用した住宅政策の推進に取り組んでいきたいと考えています。



移住者の声 服部 美冬(東京都出身、2000年にご夫婦で国頭村へ移住)

ネイチャーインテリター、“結くにがみ”自然ガイド認定講座主任講師

元々自然が好きで、その自然に魅せられて国頭村に観光客として通った20年間の間に移住を決意し、2000年に東京から移り住みました。住宅を探すまでは、近隣市町村に住み、村の区画整理の話があった際に、土地を購入し、家を建てました。東京の生活とのギャップは良くも悪くも大変な開きがありますが、「自然をもっと知り、伝えたい」という目的があったので何とかここまでやってこられたのでしょう。現実問題として、今現在住んでいる場所で暮らせない人はここでも暮らせないでしょうし、何らかの自立できる職や知識を持って来なければ生活もできないでしょう。自然でも人でも相手の為になにかをしたいと思える方が移住を考えるのであれば、心から応援したいと思っています。

“ひと紹介コーナー” 国頭村地域おこし協力隊(移住定住促進担当) 東 健

あづま けん

国頭村地域おこし協力隊として今年7月に着任しました。不動産業務に携わっていた経験を生かし、今後は空き家住宅の活用の推進、民間アパート情報の発信などを行って行きたいと考えています。現在、国頭村は住宅が不足しており、新たに移住希望者を受け入れる住宅がないことを踏まえると、誰でも受け入れていくというのは村にとって必ずしもプラスではないため、どういった人に来てもらいたいかを明確にすることが大切だと感じています。地域の人や移住者にとっていい結果が出るよう取り組んで行きたいと考えています。よろしくお願ひ致します。

